

<< 地域安全モニターと少年補導員合同研修会開催 >>

肝付地区防犯協会では5月23日、地域安全モニターと少年補導員の合同研修会を開催しました。

研修会で肝付警察署大山署長が管内の犯罪発生状況の説明を行い、「安全・安心なまちづくり実現のために御協力をお願いします。」と挨拶し、生活安全刑事課濱田課長代理による防犯講話では、巧妙化しているうそ電話詐欺の主要な手口の紹介や、少年補導状況などの説明が行われ、防犯の知識を高め、管内の防犯活動に取り組むことを確認しました。

また、研修会に先立ち、2年間の任期満了に伴い、再任された少年補導員9人に対し委嘱状が交付されました。少年補導員の方々は、毎月管内の小中学校を巡回して行う早朝立哨に参加し、児童・生徒を事件・事故から守るため、見守り活動を行っております。

再任された9人は次の方々です。 (敬称略)

小竹 範夫	高山地区	西山 郁郎	高山地区
原口 孝	高山地区	柿元 徳哉	高山地区
上岡ヒトミ	高山地区	前原 和浩	東串良地区
園田 裕子	高山地区	吉川 克志	東串良地区
松元 麗子	高山地区		



委嘱状交付式



研修会の様子

= 不審者対応訓練実施 =

6月25日、東串良町の認定こども園豊栄保育園において、不審者対応訓練を実施。「子供たちの声がうるさい。」と言いながら侵入した不審者に対し園長が対応、刃物を取り出したため、他の職員も駆け付け、園内に入ろうとする不審者を刺股等で阻止し、110番通報で駆け付けた警察官に確保される、との想定で訓練を行いました。

訓練後の講評で、肝付警察署生活安全刑事課濱田課長代理が「一人ではなく大勢で対応し、駆け付けた警察官への誘導も出来ていて良かった。」と話しました。

最後に、「刺股・フットキャッチャー」の効果的な取り扱い方法の指導を行いました。



= 長寿大学開催 =

6月7日、波見下振興会長寿大学開講（参加者17人）に併せて、肝付警察署交通課による交通安全教室と、生活安全刑事課による防犯講話を実施しました。

防犯講話では生活安全刑事課山口巡查長が平成30年の県内のうそ電話詐欺の被害発生状況の説明や、「身に覚えのないお金の請求メールやはがきを送りつけ、訴訟や裁判になるなどと不安にさせ、コンビニやATMに出向かせてお金を騙し取るなどの手口が増えている。身に覚えがないときは、振り込む前に家族や警察に相談しましょう。」と注意を呼び掛けました。



私にもはがきが来たことあるよ



「車内安全運動」 推進中
車上ねらいに注意!!

～鍵かけて、金置かざれば、被害なし～